国内生産

アザミウマ類の天敵製剤

メリトップ
Meri-Top

ククメリスカブリダニ剤

ククメリスカブリダニ

捕食!

アザミウマ類幼虫

アザミウマ類を待ち伏せ防除!

商品詳細

※出荷方法および仕様は予告なく変更する場合があります。

商品名：メリトップ
種類名：ククメリスカブリダニ剤
製品規格：50,000頭/900mlボトル
学名：*Amblyseius cucumeris*

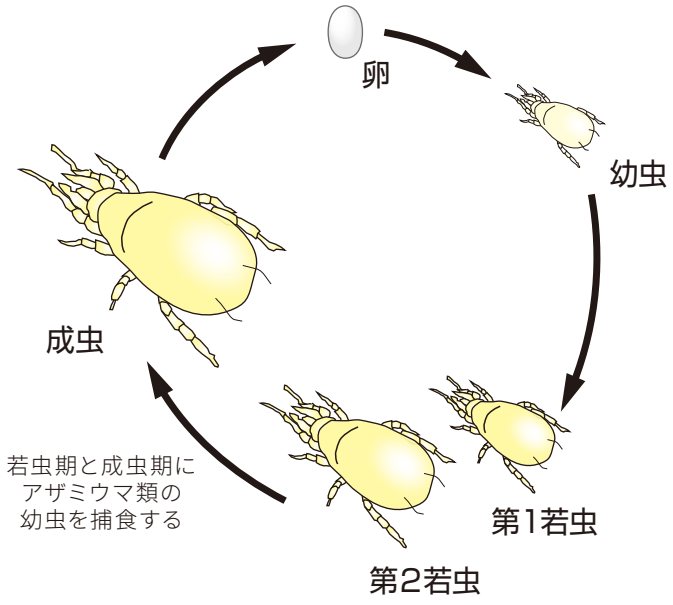
（農林水産省登録第 20851 号）

www.agrisect.com

■虫を知る　害虫とその天敵の生活サイクルを知り

天敵生物ククメリスカブリダニの生態

ククメリスカブリダニのライフサイクル



ククメリスカブリダニ

捕

ククメリスカブリダニが
アザミウマ幼虫を捕食

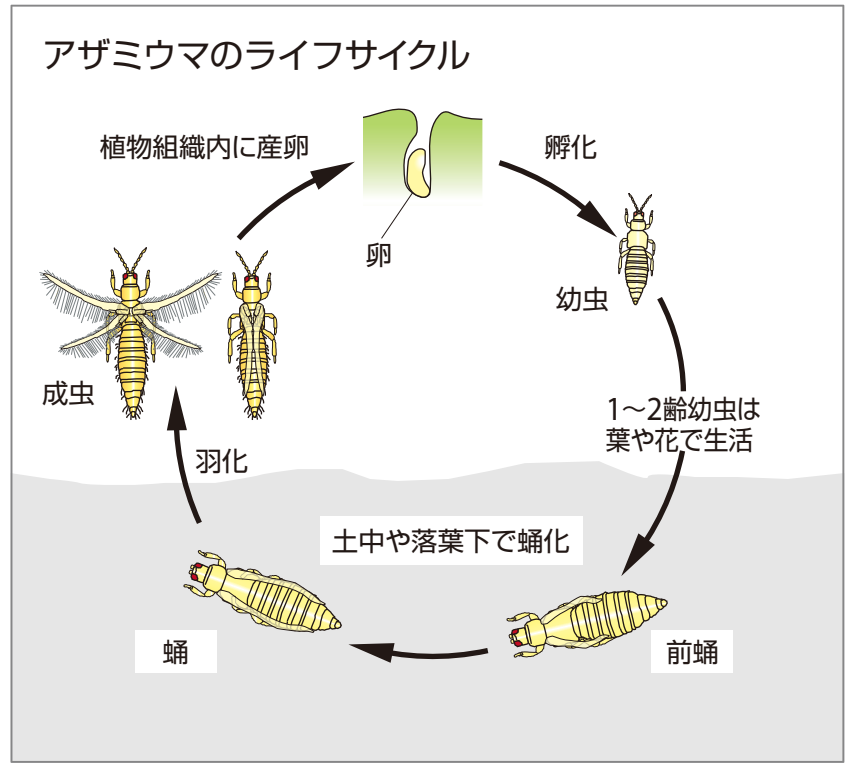
分布	日本、ヨーロッパ、地中海沿岸、北アメリカ、中近東、インド、オーストラリア、ニュージーランドなど
体長	雌成虫 約0.4mm
体色	ベージュ色～ピンク色
活動適温	17～25℃
発育期間（卵～成虫）	約8.7日（25℃環境下）
ライフサイクル	卵 → 幼虫 → 第1若虫 → 第2若虫 → 成虫 ※捕食活動を行うのは、第1・第2若虫および成虫
捕食対象	アザミウマ類幼虫のほか、ダニ類や花粉も摂食する。 アザミウマ類を捕食する場合、1齢幼虫を好む。
成虫の平均捕食数	ミカンキイロアザミウマ幼虫の場合、1日当たり約1.5頭

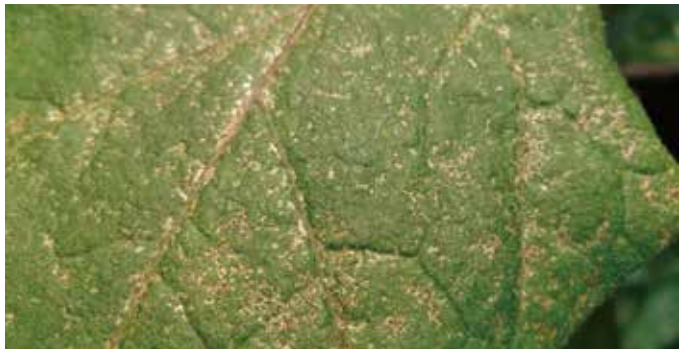
ましょう。

害虫アザミウマの生態

食

アザミウマ類の幼虫

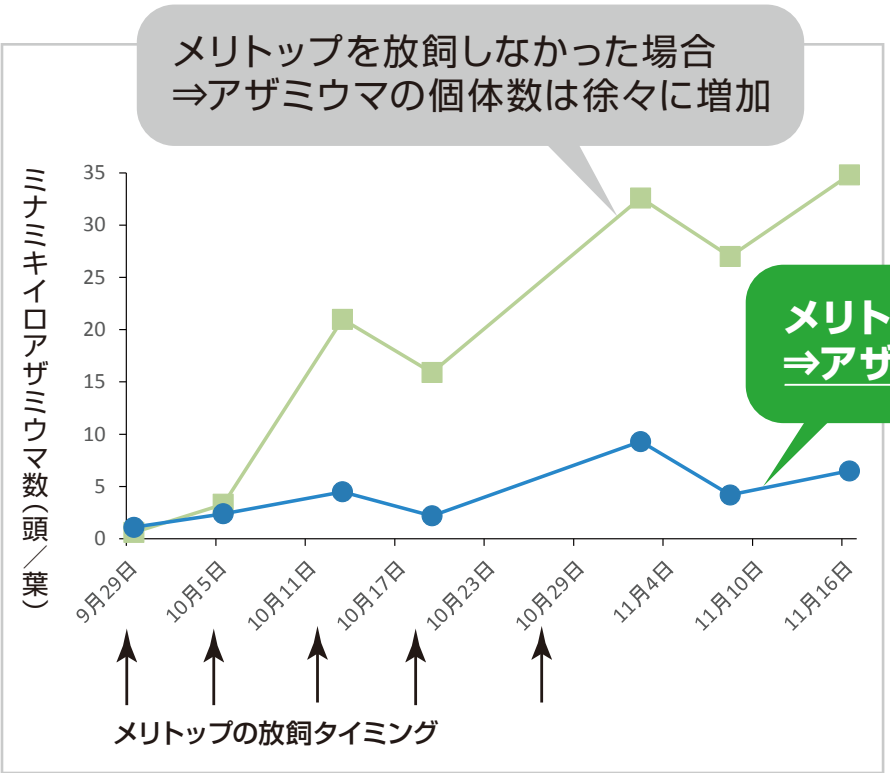



アザミウマによる被害（葉にかすり状の傷）

アザミウマによる被害（がく部分の食害）

	ミナミキイロアザミウマ	ミカンキイロアザミウマ
体長	雌成虫 約1.3mm	雌成虫 約1.5mm
体色	橙黄色	淡黄色および褐色
活動適温	25～30℃	20～30℃
発育期間（卵～成虫）	約14日	約12日（25℃環境下）
ライフサイクル	卵→1齢幼虫→2齢幼虫→前蛹→蛹→成虫 ※幼虫および成虫が植物を加害する。	
被害	一般的に植物の葉や花に寄生し、吸汁（食害）する。 被害は作物や加害部位によって様々だが、部分的な退色または褐変、 かすり症状などが見られる。また、ウイルス病を媒介する。	

メリトップのアザミウマ類に対する防除効果



試験地：福岡県農業総合試験場（2000年）
害虫発生状況：ミナミキイロアザミウマ多発生
作物名：なす（品種：筑陽、定植：2000年9月20日）
メリトップ放飼数：100頭/株
放飼月日：2000年9月29日、10月5日、10月12日、10月19日、10月27日

メリトップについて

放飼したククメリスカブリダニは、葉裏や花の内部で定着し、アザミウマ類の幼虫を捕食します。また、餌となるアザミウマ類の幼虫がいないときは花粉を餌として生活し、花の内部でアザミウマ類を待ち伏せします。

有効成分の種類： ククメリスカブリダニ
含有量： 50,000頭/900mlボトル
その他の成分： 植物片、ケナガコナダニ等
※第1、第2若虫及び成虫を合計50,000頭以上封入しています。

農林水産省登録第20851号

適用表

作物名	適用病害虫名	使用量
野菜類（施設栽培）	アザミウマ類	100頭/株

2019.12

株式会社 アグリセクト www.agrisect.com

〒300-0506 茨城県稲敷市沼田2629番地1 電話 029-840-5977 FAX 029-840-5988

メリトップの導入タイミング

※アザミウマが発生している場合は、ククメリスカブリダニに対して影響の少ない農薬を散布し、できるだけアザミウマの密度を下げてから放飼してください。

⇒本書の **アザミウマ防除でメリトップと併用できる農薬** をご参照ください。

作物の開花後なら、放飼時にアザミウマが発生していなくても
作物の花粉等を食べて生存可能です。
アザミウマが侵入しやすいハウスの出入り口、側窓付近の他、
例年アザミウマの発生が見られる箇所には重点的に放飼します。

株あたりのメリトップ導入基準：100頭/株（10aあたり3本/回）

導入前の注意点

●これまで使用した農薬がククメリスカブリダニに影響しないか確認しましょう。
⇒本書の **ククメリスカブリダニに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について** をご参照ください。

メリトップの導入手順

⇐カブリダニ製剤の放飼方法を動画で確認できます。

① 天敵が届いたら

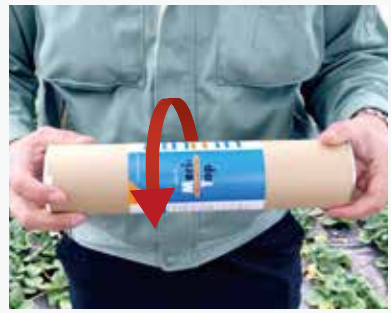
輸送用箱から取り出したボトルを横向きに静置して、ゆっくり常温に戻します。

注意！

メリトップの到着後は、当日に全て放飼し、使い切ってください。
万一放飼が翌日になる場合は、容器を新聞紙に包んで乾燥を防ぎ、冷蔵庫の野菜室で保管してください。

② ボトル内を攪拌する

ボトル内のククメリスカブリダニの偏在を防ぐため、ボトルを横にしてゆっくり20回程度回転させ、密度を均一にしてください。

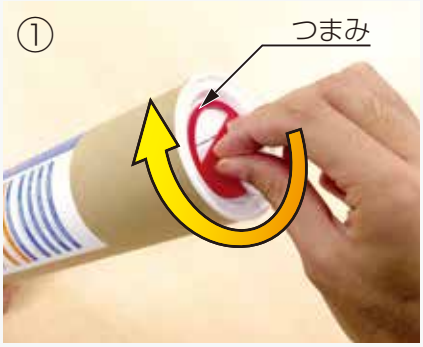


注意！

ボトルを上下左右に激しく振るなど、手荒に扱うとククメリスカブリダニが圧死してしまうため、注意してください。

③ボトルの開封方法

① 赤色のつまみを180度回転させます。
② 開封口の片方の端を強く押し込み、開封します。
③ 開封口を取り外し、密封用の樹脂が残っている場合は取り除きます。



④天敵放飼

内容物を施設全体に放飼します。
アザミウマが侵入しやすいハウスの出入り口、側窓付近の他、例年アザミウマの発生が見られる箇所には重点的に放飼します。

軽く一振りでおよそ100頭放飼できます

⑤放飼が終わったら

放飼後は、ククメリスカブリダニがボトル内に残っているため、畝の上に静置してください。

Point!

ククメリスカブリダニが良く定着するように、放飼から1週間は葉面散布剤や農薬の使用は避けてください。

⑥その後の確認方法

ククメリスカブリダニが定着すると、葉裏（葉脈付近：右図参照）や花の周辺で見られるようになります。
肉眼でも確認できますが、ルーペがあると観察に便利です。

葉脈付近のククメリスカブリダニ

ククメリスカブリダニに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について

・表中の数字は残効日数を表します。天敵の放飼は残効期間（「日数」×24時間）以上の期間を経てから行ってください。
・「0」は農薬散布当日を表しますが、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がありますので注意してください。
・「影響ない」「ほとんど影響ない」と表示されている農薬でも、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がありますので注意してください。

【殺虫剤・殺ダニ剤】

農 薬 名	残効期間もしくは影響の程度
アカリタッチ乳剤	乾燥後影響ない
アクタラ顆粒水溶剤	14
アタブロン乳剤	9
アドマイヤー1粒剤	0
アドマイヤー顆粒水和剤/水和剤/フロアブル	0
アニキ乳剤	3
アファーム乳剤	6
アプロード水和剤	0
アルバリン顆粒水溶剤/粒剤	長期間残効する可能性あり
ウララDF	0
エコピタ液剤	乾燥後影響ない
カスケード乳剤	0
クリアザールフロアブル	卵・成虫の死亡率高い
グレーシア乳剤	長期間残効する可能性あり
コテツフロアブル	6
コルト顆粒水和剤	ほとんど影響ない
コロマイト水和剤	成虫の死亡率高い
コロマイト乳剤	7
サフオイル乳剤	乾燥後影響ない
サンクリスタル乳剤	乾燥後影響ない
サンマイトフロアブル	成虫の死亡率高い
スタークル顆粒水溶剤/粒剤	長期間残効する可能性あり
スピノエース顆粒水和剤	15
スプラサイド水和剤	56
ダニサラバフロアブル	0
チェス顆粒水和剤/水和剤	0

農 薬 名	残効期間もしくは影響の程度
ディアナSC	15
デミリン水和剤	0
トリガード液剤	0
トルネードエースDF	ほとんど影響ない
粘着くん液剤	乾燥後影響ない
バイデートL粒剤	0
バロックフロアブル	10以上
ピラニカEW	成虫の死亡率高い
ファインセーブフロアブル	ほとんど影響ない
フーモン	乾燥後影響ない
プリロッソ粒剤	ほとんど影響ない
プレオフロアブル	ほとんど影響ない
プレバソンフロアブル5	ほとんど影響ない
ベネビアOD	ほとんど影響ない
ベミデタッチ	ほとんど影響ない
ベリマークSC	ほとんど影響ない
ボタニガードES	乾燥後影響ない
マイトコーネフロアブル	成虫に影響ない
マッチ乳剤	0
マブリック水和剤20	卵・成虫の死亡率高い
ミネクトデュオ粒剤	0
ムシラップ	乾燥後影響ない
モスピラン顆粒水溶剤/水溶剤	0
モベントフロアブル	長期間残効する可能性あり
ラノー乳剤	成虫に影響ない

・表中の残効期間や影響の程度は目安です。農薬散布時の環境（展着剤、温度、天候、紫外線量、換気条件など）によって変化するのでご注意ください。
・本表は現場情報に基づく弊社の知見をもとに作成しました。
詳細は各農薬メーカーにお問い合わせください（農薬ラベルをご確認ください）。

弊社HPからも
ご確認いただけます。

【殺菌剤】

農 薬 名	残効期間もしくは影響の程度
アミスター20フロアブル	幼虫・成虫に影響ない
アミスターオプティフロアブル	幼虫・成虫に影響ない
イオウフロアブル	成虫に影響ある
オーソサイド水和剤80	0
ジマンダイセン水和剤	0
ショウチノスケフロアブル	1

農 薬 名	残効期間もしくは影響の程度
ダコニール1000	0
トップジンM水和剤	21
トリフミン水和剤	0
パルミノ	0
パンチョTF顆粒水和剤	ほとんど影響ない
モレスタン水和剤	0

アザミウマ防除でメリトップと併用できる農薬

※メリトップの導入前後に散布してもククメリスカブリダニに対する影響の少ない農薬を抜粋しています。

農 薬 名	残効期間もしくは影響の程度
アドマイヤー1粒剤	0
アドマイヤー顆粒水和剤/水和剤/フロアブル	0
ウララDF	0
カスケード乳剤	0
デミリン水和剤	0
バイデートL粒剤	0
ファインセーブフロアブル	ほとんど影響ない
プリロッソ粒剤	ほとんど影響ない

農 薬 名	残効期間もしくは影響の程度
プレオフロアブル	ほとんど影響ない
ベネビアOD	ほとんど影響ない
ベリマークSC	ほとんど影響ない
マッチ乳剤	0
ミネクトデュオ粒剤	0
モスピラン顆粒水溶剤/水溶剤	0
ラノー乳剤	成虫に影響ない